

日本光学会平成 19 年度第 3 回常任幹事会議事録

日 時： 2008 年 3 月 21 日(金) 13:30~17:00

場 所： 応用物理学学会会議室

参加者： 伊東幹事長, 他 23 名

議 事：

1. 日本光学会平成 19 年度第 183 回幹事会議事録の確認

- ・第 183 回幹事会議事録は承認された。

2. 報告事項

2-1. 「光学」関連報告

(1) 「光学」編集報告

- ・出版の状況が示され, 順調に進んでいることが報告された。

2-2. 「OPTICAL REVIEW」関連報告

(1) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・掲載および投稿論文状況が報告された。インパクトファクターは例年通り 0.6 弱との報告があった。査読委員会で, オリジナリティを重視するよう議論されたと報告があった。

(2) 「OPTICAL REVIEW」出版報告

- ・出版委員会の報告と 2007 年度出版実績の報告があった。Photonic Asia および APS Meeting にて広報を行ったことが報告された。
- ・Springer との懇談を行ったことが報告された。Springer サイトでの 2005 年以降のダウンロード数の報告があり, 年々増加傾向にあることが報告された。電子版ホームページについて, 電通大サイトに Springer のダウンロードページを掲載するよう依頼があったことが報告された。

2-3. 講演会関連報告

(1) OPJ 2007 収支報告

- ・最終収支が提示され, 前回提示の速報に対し, 支出項目に旅費と光学掲載料を追加したことが報告された。

(2) 第 34 回冬期講習会収支報告

- ・冬期講習会の収支が報告され, 参加者が 96 名と盛況であったことが報告された。

(3) 第 41 回光学五学会関西支部連合講演会収支報告

- ・収支が報告された。昨年に引き続き多くの聴講者が参加したことが報告された。

(4) 第 33 回光学シンポジウム進捗報告

- ・招待講演の 7 名と一般講演の 16 件からなるプログラムが確定したことが報告された。

- ・広報活動, 会員増計画, および実行委員リストなどが報告された。

(5) OPJ 2008 進捗報告

- ・開催日が 11 月 4 日~6 日に決定し, 準備が順調であることが報告された。
- ・実行委員会の資料の報告があり, 実行委員会, プログラム委員会のメンバー案が提示された。
- ・OPJBP 賞候補の講演について, 集中セッションとはせずに, 分野ごとに分けて 2 日目までに組み入れる方針であることが報告された。

2-4. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

- ・2 件の協賛依頼が承認された。

(2) 会員動静について

- ・会員動静が報告され, 2 月末の時点で会員数が 1,874 人であることが報告された。

(3) 収支計算書について

- ・2008 年 1 月 1 日から 2 月 29 日の収支が報告された。

(4) 研究グループ活動報告

- ・平成 19 年度の各研究グループの活動と会員数などが報告された。また, 平成 20 年度の各研究グループの事業計画(案)について報告があった。
- ・平成 19 年度の収支決算と, 平成 20 年度の予算案が報告された。その中で, 光設計研究グループは, Optics-photonics Design and Fabrication (ODF) があるため, 会計額が大きいことが報告された。

(5) 日本光学会新ロゴについて

- ・依頼先であるキヤノンに礼状を送り, 「光学」3 号にて会員に連絡することで, 新ロゴに関する活動がほぼ完了したことが報告された。
- ・海外からロゴ使用の依頼があり, ガイドラインの英訳を作成したことが報告された。

(6) 産学官連携, 奨励金制度の提案について

- ・産学官連携委員会での検討状況が報告された。コミュニケーション画像科学振興財団以外からも寄付を募ること, 幹事長名で寄付を依頼すること, 寄付金募集の日程(案)などが報告された。

(7) 500 人会員増委員会報告

- ・幹事に対して, 新規会員の勧誘を依頼するメールを配信した旨が報告された。入会案内のしおりが 3 月末に完成していなかったため, 幹事による勧誘の結果集計につい

ては、5月幹事会に延期されたことが報告された。

3. 審議事項

(1) 国際協力支援金規定(案)について

・これまでの議論での修正を盛り込んだ内規案が提示され、前期申込期日を12月末日に訂正することで、承認された。

(2) 総会資料(事業報告・会計報告)について

・平成19年度の事業報告と平成20年度の事業計画(案)が提示された。

・応用物理学会会長の石原先生が論文賞を授与する。幹事からの多数の参加が要請された。

・平成19年度収支決算が報告された。過去8年分の収支動向および各事業の収支動向が提示され、各事業の傾向も紹介された。

・会員数が単調減少していることについて議論された。

(3) 研究グループ補助金申請について

・100万円以上の繰越金がある研究グループについて、補助金申請の辞退を願ひし、4つのグループが辞退したことが報告された。残る8つの研究グループへの補助金支払いが承認された。

(4) 日本光学会ホームページについて

・ウェブ広告の代理店について、2社の比較からアドコム・メディア株式会社の選択が了承された。

・バナー広告掲載基準案が承認された。

・ホームページコンテンツの英語版について、作成を進めることが承認された。

・入会案内を新しくしたことと、今後英語版の入会案内を作成していくことが報告された。

(5) 入会のしおりについて

・日本光学会の魅力的な面をアピールし、会員増に繋がるような入会のしおりとなるよう、検討を行ったことが報告された。入会のしおりデザイン(案)が提示され、承認された。

(6) 第42回サマーセミナーについて

・実行委員会の内容について報告された。今年は、1泊2日の宿泊形式に変わる新たな方式を考案する一年とすることが提案され、非開催とすることについて、承認された。

・開催方式や過去の経緯などが議論された。学生の参加が減少していることや、過去にも中断した年があったことなどが話された。

・ホームページに会員からの意見を受け付けるページを作るなどはどうだろうかと思案があった。

(7) 論文賞規定・選考規定の改定について

・運営上の日程の都合により、規定の月を変更することが

提案され、承認された。

(8) 研究グループ内規について

・実態に合わせた文言への修正と期日の変更が提案され、承認された。

・研究グループの規模を知るために、会員数を報告してもらうことを検討するよう要請された。

(9) 平成20年度活動計画について

・幹事会の日程が確定したことが報告された。

第184回幹事会

2008年5月20日(火)に、応用物理学会会議室(九段下)において開催されました。「光学」編集報告、「OR」編集・出版報告、第33回光学シンポジウム進捗報告、OPJ2008進捗報告がなされました。また、協賛依頼、会員動静、収支計算書、会計の手順および注意事項について説明がなされ、会員制度委員会報告、500人会員増委員会報告、ISBN番号付与、入会のしおりの進捗、産学官連携推進事業、光学会ホームページについての報告がなされました。さらに、年度計画、光学論文賞選考委員、光学論文賞募集要項、奨励賞審査委員、幹事選挙、「Weblio」からのデータ掲載依頼、将来問題検討委員会開設、「光学」および「OR」発行部数見直し、電気関係学会北陸支部連合大会における優秀論文発表賞について審議がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は第37巻第9号に掲載予定です。

平成20年度光学論文賞受賞候補者の募集

応用物理学会では光学の分野における優秀論文の著者に対し、下記のごとく光学論文賞を贈っています。本論文賞は49年の歴史をもち、光学奨励賞とともに日本光学会の活動度を示す重要な指標の役目を果たしております。光学論文賞規定については本号433ページをご覧ください。光学論文賞は公募に応じた自薦、他薦の候補者から選考されます。奮ってご推薦ください。

受賞対象者：原則として表彰の年に満40歳未満の日本光学会会員あるいは応用物理学会会員であり、本年8月末日までの1年間に発行された学術刊行物に発表された光学に関する原著論文の第1著者。詳細は光学論文賞規定をご覧ください。

提出書類：候補者の氏名、会員番号、生年月日、満年齢(公募締切日における)、勤務先、勤務先所在地、自宅住所、連絡先、電子メールアドレス、候補論文(1編)および関連論文名のリスト、推薦理由(自薦他薦を問わず、論文の特徴、優れた点等を1000字以内でわか

りやすく記す), 候補論文別刷 10 部 (コピー可, 関連論文があれば 2 編以内でそれらの別刷またはコピーを 1 編につき 10 部ずつ添付), 他薦の場合は推薦者の氏名, 勤務先, 勤務先所在地, 連絡先, 電子メールアドレス.

書類提出期限: 2008 年 9 月 12 日(金) 必着

提出先: 日本光学会庶務幹事 厚海広道

〒 243-0460 海老名市下今泉 810

(株)リコー画像エンジン開発本部 Md 開発センター
光学 Md 開発室光学 Md 開発二グループ

電話 046-292-6794 Fax 046-231-9047

E-mail: ronbun08@samba.ocn.ne.jp

結果は「光学」第 38 巻第 3 号において発表されます。

平成 21 年度幹事立候補者募集

平成 21 年度新幹事選出 (任期 2 年, 毎年半数交代) の候補者として, 本会の運営に熱意ある会員の方々の立候補を募集いたします。役員選挙その他に関する内規は, 本号 432 ページをご覧ください。候補者は, 自薦・他薦を問いませんが, 他薦の場合は本人の承諾を必要とします。候補者の推薦理由をつけてご推薦をお願いします。立候補照会および問い合わせは庶務幹事の津村までお願いします。

立候補締切: 2008 年 8 月 8 日(金)

問合せ先: 日本光学会庶務幹事 津村徳道

〒 263-8522 千葉県稲毛区弥生町 1-33

千葉大学大学院融合科学研究科

電話 043-290-3262 Fax 043-290-3262

E-mail: osj_somu@grace.ocn.ne.jp

第 239 回「光学」編集委員会

2008 年 5 月 9 日(金) に, 応用物理学会会議室において開催されました。第 38 巻第 1~3 号の企画決定, 第 38 巻第 4, 5 号の第二次構想案の審議, 第 38 巻第 6, 7 号の第一次構想案の審議, 第 38 巻第 8, 9 号の号担当の決定が行われました。その後, 報告および審議事項を経て, 論文投稿・審査状況についての報告, 各号の進捗状況報告, 会計報告, 幹事会報告がなされました。

Optics & Photonics Japan 2008

期 日: 2008 年 11 月 4 日(火)~2008 年 11 月 6 日(木)

場 所: つくば国際会議場 (〒 305-0032 つくば市竹園 2-20-3)

問合せ先: (株)アドスリー内 OPJ 2008 事務局

電話 03-5925-2840 Fax 03-5925-2913

E-mail: opj@opt-j.com

詳細は第 37 巻第 6 号の綴じ込み案内, またはホームページ (<http://www.opt-j.com/opj2008/>) をご覧ください。

第 9 回情報フォトニクス研究グループ研究会 (秋合宿)

われわれの日常生活において情報通信技術は, 必要不可欠な社会基盤となっています。特に情報フォトニクス技術は, 多様なスケールでの情報の共有化を実現する要素技術として期待されています。そこで今回の情報フォトニクス研究会では, 光を要素技術とする具体的な応用を研究・開発されている方々を講演者にお招きし, 意見交換・コラボレートの可能性を探ります。また, 未踏のフォトニック情報システムの創出を目指し, 研究者・技術者・学生などの階層や研究分野の垣根を超えて議論できる場の提供を行います。

テーマ: 情報フォトニクス技術の産業応用

期 日: 2008 年 9 月 25 日(木)~9 月 26 日(金)

場 所: 静岡県寸又峡公民館, 静岡県寸又峡光山荘 (静岡県榛原郡川根本町)

主 催: 日本光学会情報フォトニクス研究グループ
プログラム:

<9 月 25 日(木)>

13:00~15:50 講演

「瞳孔検出を利用した装置の開発」海老澤嘉伸 (静岡大) / 「次世代眼底イメージングシステムの開発」有本英伸 (産総研) / 「脳研究における起業実践」江田英雄 (光産業創成大) / 「ホログラム応用による光産業創成」池田貴裕 (浜松ホトニクス)

16:00~17:30, 20:00~ ディスカッション (1) ー情報フォトニクス技術ー

<9 月 26 日(金)>

9:00~ ディスカッション (2) ーフォトニック情報システムの創出ー

11:00~ 国際会議報告, ワーキンググループ報告, ほか

参加費: 宿泊ありの場合, 一般 17,000 円, 学生 11,000 円。講演のみの場合, 一般: 4000 円, 学生: 1000 円。

参加申込方法: 氏名, 所属, 参加費種別 (一般・学生), 宿泊の有無を明記の上, E-mail にてお申し込みください。

申込締切: 2008 年 8 月 8 日(金)

申込・問合せ先: 静岡大学工学部システム工学科
生源寺類

E-mail: shogenji@sys.eng.shizuoka.ac.jp

詳細は情報フォトニクス研究グループのホームページ

<http://www.i-photonics.jp/meetings.html> をご覧ください。

「デジタル画像基礎技術」技術講座

期 日： 2008 年 9 月 1 日(月)～3 日(水)

初日 10：30～17：00, 2・3 日目 9：30～17：00

場 所： 機械振興会館別館 4 階 日本オプトメカトロニクス協会研修室 (東京都港区芝公園 3-5-22)

講 師： 加藤茂夫 (宇都宮大)

主 催： (社)日本オプトメカトロニクス協会

協 賛： 日本光学会

参加費： 1 名につき, 一般 94,500 円, 正会員 61,950 円, 協賛 85,050 円, 賛助会員 75,600 円, デジタル・イメージング技術部会登録企業 52,500 円 (テキスト代・消費税を含む)。

定 員： 36 名

申込期限： 2008 年 8 月 25 日(月)

問合せ先： (社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp

URL: <http://www.joem.or.jp>

日本光学会 news の掲載申込み先：

〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16 (4 号館 420 号室)

東京農工大学大学院共生科学技術研究院 物理システム工学専攻 芦原 聡

電話/Fax 042-388-7536 E-mail: ashihara@cc.tuat.ac.jp

なお, 掲載申込みは原則として発行日 (10 日) から 2 か月前の 15 日まで, 開催日が 1～10 日の場合は, 開催日の 3 か月前の 15 日までをお願いします。

掲載にあたっては, 「日本光学会 news」および「光学関連会合予定」の掲載基準 (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/kogaku/news-keisai.html>) をご確認ください。

日本光学会平成20年度幹事 (*常任幹事)

幹事長：	谷田貝豊彦* (宇都宮大)	
副幹事長：	渡辺 正信* (産総研)	志村 努* (東京大)
前幹事長：	伊東 一良 (大阪大)	
庶務幹事：	芦原 聡* (東京農工大)	菅谷 綾子* (ニコン)
	竹内 誠二* (キャノン)	津村 徳道* (千葉大)
	厚海 広道* (リコー)	飯塚 隆之* (HOYA)
	宮澤 佳苗* (伊東光学工業)	安田 晋* (富士ゼロックス)
	渡邊恵理子* (日本女子大)	
『光学』編集幹事：	梅田 倫弘* (東京農工大)	山口 雅浩 (東工大)
『Optical Review』編集・出版幹事：	植田 憲一* (電通大)	佐々木修己* (新潟大)
国際協力幹事：	中川 清 (香川大)	津田 裕之 (慶應義塾大)
産学協力幹事：	石樽 崇明 (慶應義塾大)	藤川 久喜 (豊田中研)
将来問題担当幹事：	谷川ゆかり (産総研)	戸田 泰則 (北海道大)
電子化担当幹事：	森野 剛志 (東芝)	河野 裕之 (三菱電機)
事業・企画担当幹事：	岡田 訓明 (シャープ)	佐藤 俊一 (東北大)
	佐藤 雅之 (北九州市立大)	白石 武嗣 (コニカミノルタオプト)
	杉田 篤史 (静岡大)	忠永 修 (NTT)
	西畑 純弘 (富士フイルム)	二瓶 裕之 (北海道医療大)
	松尾 繁樹 (徳島大)	大出 寿 (オリンパス)
	大八木康之 (大日本印刷)	岡本 卓 (九州工大)
	小野 浩司 (長岡技大)	式井 慎一 (松下電器)
	高橋 信明 (防衛大)	高原 淳一 (大阪大)
	高松 衛 (富山大)	陳 軍 (東京工芸大)
